

◎アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

(略称) アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

目次

第一条	アジアハイウェイ道路網の採択	四七一
第二条	アジアハイウェイ道路網の定義	四七一
第三条	アジアハイウェイ道路網の整備	四七二
第四条	アジアハイウェイ道路網の標識	四七二
第五条	この協定に署名するため及びこの協定の締約国となるための手続	四七二
第六条	この協定の効力発生	四七三
第七条	アジアハイウェイに関する作業部会	四七三
第八条	この協定の本文を改正するための手続	四七三
第九条	この協定の附属書Iを改正するための手続	四七四
第十一条	この協定の附屬書II及びIIIを改正するための手続	四七五
第十二条	留保	四七六

ページ

平成十五年十一月十八日 バンコクで作成  
平成十六年四月一十三日 署名の閣議決定  
平成十六年四月一十六日 署名  
平成十七年六月一十一日 告示(外務省告示第四百六十四号)  
平成十七年七月四日 我が国について効力発生

第十二条	この協定からの脱退	四七六
第十三条	この協定の失効	四七六
第十四条	紛争の解決	四七六
第十五条	この協定の適用の制限	四七七
第十六条	締約国に対する通報	四七八
第十七条	協定の附屬書	四七八
第十八条	協定の事務局	四七八
第十九条	事務総長へのこの協定の寄託	四七八
末文		四七八
附属書I		四八〇
附属書II		四七九
附属書III		四九四

前文

アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

締約国は、

アジアにおける及び隣接地域との国際的な道路輸送を促進し及び発展させる必要性を認め、

アジアハイウェイ道路網の企画及び実現における国際連合アジア太平洋経済社会委員会の加盟国間の協力を想起し、

国際連合アジア太平洋経済社会委員会の加盟国間の間で、関係を強化し並びに国際的な貿易及び観光を振興するため、効率的である国際的な複合輸送の導入も念頭に置きつつ、国際輸送及びその環境の必要性に応じてアジアハイウェイ道路網を整備することが重要であることを考慮し、

CONSIDERING that in order to strengthen relations and promote international trade and tourism among members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific it is essential to develop the Asian Highway network to the requirements of international transport and the environment, keeping also in view the introduction of efficient international intermodal transport,

CONTINUING the cooperative efforts for planning, development and improvement of international road transport within Asia and between Asia and neighbouring regions,

HAVE AGREED as follows:

*Article I*

Adoption of the Asian Highway network

アジアハイウェイ道路網の採択

締約国は、国際的に重要な道路の路線の整備のための調整された計画であつて自国の計画の枠内で実施する意図を有するものとして、この協定の附属書Iに定める提案された道路網（以下「アジアハイウェイ道路網」という。）を探査する。

The Contracting Parties, hereinafter referred to as the Parties, adopt the proposed highway network hereinafter referred to as the "Asian Highway network," and described in annex I to this Agreement, as a coordinated plan for the development of highway routes of international importance which they intend to undertake within the framework of their national programmes.

*Article 2*

Definition of the Asian Highway network

アジアハイウェイ道路網の定義

附属書Iに定めるアジアハイウェイ道路網は、アジアにおける国際的に重要な道路の路線から成り、「以上の小地域を実質的に通過する道路の路線（小地域内の道路の路線（隣接する小地域につながるもの）を含む。）及び加盟国内にある道路の路線を含む。」

INTERGOVERNMENTAL AGREEMENT ON THE  
ASIAN HIGHWAY NETWORK

THE CONTRACTING PARTIES,

CONSCIOUS of the need to promote and develop international road transport in Asia and with neighbouring regions,

RECALLING the cooperation among members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific in the formulation and operationalization of the Asian Highway network,

# アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四十一

## 第三条 アジアハイウェイ道路網の整備

### Article 3 Development of the Asian Highway network

アジアハイウェイ道路網の路線については、この協定の附属書IIに定める分類及び設計基準に適合せらるべきである。

アジアハイウェイ  
道路網の  
整備

アジアハイ  
ウェイ  
道路網  
の  
標識

## 第四条 アジアハイウェイ道路網の標識

### Article 4 Signage of the Asian Highway network

1. アジアハイウェイ道路網の路線については、この協定の附属書IIIに定める路線標識によつて表示すべきである。

2. この協定の附属書IIIに定める標識に合致する路線標識については、第六条の規定に従つてこの協定が関係国について効力を生ずる日から五年以内に、アジアハイウェイ道路網のすべての路線に設置すべきである。

## 第五条 この協定に署名するため及びこの協定の締約国となるための手続

1. The Asian Highway network routes should be indicated by means of the route sign described in annex III to this Agreement.
2. Route signs conforming to that described in annex III to this Agreement should be placed on all routes of the Asian Highway network within five (5) years from the date of entry into force of this Agreement for the State concerned, in accordance with article 6.

### Article 5

#### Procedure for signing and becoming a Party to this Agreement

1. この協定は、二千四年四月二十六日から二十八日まで中国の上海において、その後は、二千四年五月一日から二千五年十二月三十一日までニューヨークにある国際連合本部において、国際連合アジア太平洋経済社会委員会の加盟国である国による署名のために開放しておく。この協定に署名するための手続
  1. 確定的に署名する」といふ。
  2. Those States may become Parties to this Agreement by:
    1. Definitive signature;
    2. Signature subject to ratification, acceptance or approval, followed by ratification, acceptance or approval; or
    3. Accession.
  3. 批准、受諾、承認又は加入は、良好妥当である文書を国際連合事務総長に寄託する所にて行う。

この協定の効力発生

第六条　この協定の効力発生

Article 6

Entry into force of this Agreement

1　この協定は、少なくとも八の国の政府が第五条2の規定に従つてこの協定に拘束されるに同意した日の後九十日目の日に効力を生ずる。

2　この協定は、この協定の効力発生のための条件が満たされた日の後に確定的に署名し又は批准書、受諾書、承認書若しくは加入書を寄託する国については、その確定的な署名の日又はこれらの文書の寄託の日以後九十日目の日に効力を生ずる。

第七条　アジアハイウェイに関する作業部会

アジアハイウェイに関する作業部会

Working Group on the Asian Highway

1. A Working Group on the Asian Highway shall be established by the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific to consider the implementation of this Agreement and to consider any amendments proposed. All States which are members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific shall be members of the Working Group.

2. 当該作業部会は、「一年」<sup>1</sup>に会合する。また、締約国は、事務局にあてた通告によりて、当該作業部会の特別会合を招集するよう要請することができる。事務局は、その要請を当該作業部会のすべての構成国に通報し、三分の一以上の締約国が事務局による通報の日から四箇月の期間内にその要請に対する同意を表明する場合には、当該作業部会の特別会合を招集する。

2. The Working Group shall meet biennially. Any Party may also, by a notification addressed to the secretariat, request that a special meeting of the Working Group be convened. The secretariat shall notify all members of the Working Group of the request and shall convene a special meeting of the Working Group if not less than one third of the Parties signify their assent to the request within a period of four (4) months from the date of the notification by the secretariat.

第八条　この協定の本文を改正するための手続

Procedures for amending the main text of this Agreement

Article 8

この協定の本文を改正するための手続

- 1　この協定の本文は、この条に定める手続によつて改正することができる。
- 2　いずれの締約国も、この協定の改正を提案することができる。

3　改正案は、その採択が提案されるアジアハイウェイに関する作業部会の会合の少なくとも四十五日前に事務局が当該作業部会のすべての構成国に送付する。

アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

# アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

## 四十七回

five (45) days before the Working Group meeting at which it is proposed for adoption.

4. 改正是、アジアハイウェイに関する作業部会において出席しあつ投票する締約国の三分の一以上の多数による議決で採択する。採択された改正は、事務局が国際連合事務総長に通報するものとし、同事務総長がすべての締約国に対し受諾のために送付する。

5. 4の規定に従つて採択された改正は、締約国の三分の一によつては受諾された後十二箇月で効力を生ずる。その改正は、これを受諾しない旨をその効力発生前に宣言する締約国を除くほか、すべての締約国について効力を生ずる。採択された改正をこの5の規定に従つて受諾しない旨を宣言した締約国は、その後いつでも、当該改正の受諾書を国際連合事務総長に寄託することができる。当該改正は、当該受諾書の寄託の日の後十二箇月で当該国について効力を生ずる。

5. An amendment adopted in accordance with paragraph 4 of the present article shall enter into force twelve (12) months after it has been accepted by two thirds of the Parties. The amendment shall enter into force with respect to all Parties except those which, before it enters into force, declare that they do not accept the amendment. Any Party that has declared that it does not accept an amendment adopted in accordance with this paragraph may at any time thereafter deposit an instrument of acceptance of such amendment with the Secretary-General of the United Nations. The amendment shall enter into force for that State twelve (12) months after the date of deposit of the said instrument.

### 第九条　この協定の附属書Iを改正するための手続

#### この協定の附属書Iを改正するための手続

1. この協定の附属書Iは、この条に定める手続により改正することができる。
2. いづれの締約国も、国際的な国境通過点を変更しない国内の路線の設定に関する改正を除くほか、直接関係する隣接国と協議し、かつ、合意した後、改正を提案することができる。
3. 改正案は、その採択が提案される作業部会の会合の少なくとも四十五日前に事務局が作業部会のすべての構成国に送付する。
4. 改正是、アジアハイウェイに関する作業部会において出席しあつ投票する締約国の過半数による議決で採択する。採択された改正は、事務局が国際連合事務総長に通報するものとし、同事務総長がすべての締約国に送付する。
5. 4の規定に従つて採択された改正は、その通報の日から六箇月の期間内に、直接関係するいづれの締約国も改正に対する異議を国際連合事務総長に通告しなかつた場合には、受諾されたものとみなす。

### Article 9 Procedure for amending annex I to this Agreement

1. Annex I to this Agreement may be amended by the procedure specified in this article.
2. Amendments may be proposed by any Party after consultation and obtaining consensus with directly concerned neighbouring States except for an amendment relating to domestic alignment that does not change an international border crossing.
3. The text of any proposed amendment shall be circulated to all members of the Working Group by the secretariat at least forty-five (45) days before the Working Group meeting at which it is proposed for adoption.
4. An amendment shall be adopted by the Working Group on the Asian Highway by a majority of the Parties present and voting. The amendment as adopted shall be communicated by the secretariat to the Secretary-General of the United Nations, who shall circulate it to all Parties.
5. An amendment adopted in accordance with paragraph 4 of the present article shall be deemed accepted if during a period of six (6) months from the date of the notification, none of the Parties directly concerned notify the Secretary-General of the United Nations of their objection to the amendment.

6. 5の規定に従つて受諾された改正は、5に定める六箇月の期間の満了後三箇月すべての締約国にて効力を生ずる。

7. 直接関係する締約国とは、次のものをいう。

(a) 二以上の小地域を実質的に通過するアジアハイウェイの路線であつて、新たに設定するもの又は既存の当該路線を変更するものが自国の領域を通過する締約国

(b) 小地域内のアジアハイウェイの路線であつて、新たに設置するもの又は既存の当該路線を変更するもの（隣接する小地域につながるものも含む。）及び加盟国内にある路線（以下「小地域内の路線等」という。）に関する場合においては、小地域内の路線等が自国の領域を通過する締約国であつて改正を要請する国に隣接するもの、又は二以上の小地域を実質的に通過するアジアハイウェイの路線であつて小地域内の路線等に接続するものが自国の領域を通過する締約国であつて改正を要請する国に隣接するも二以上の小地域を実質的に通過するアジアハイウェイの路線、又は小地域内の路線等若しくは二以上の小地域を実質的に通過するアジアハイウェイの路線であつて小地域内の路線等に接続するものにおける海上の連絡の末端をそれぞれの領域内に有する二の締約国も、この7の規定の適用上、隣接するものとみなされる。

8. 5の規定に基づく異議のために、事務局は、改正の本文と共に、その改正が直接関係する締約国の表を国際連合事務総長に通報する。

8. For the purpose of objections under paragraph 5 of this article, the secretariat shall communicate to the Secretary-General of the United Nations, together with the text of the amendment, a list of Parties which are directly concerned by the amendment.

#### Article 10

##### Procedure for amending annexes II and III to this Agreement

#### この協定の附属書II及びIIIを改正するための手続

1. この協定の附属書II及びIIIは、この条に定める手続によつて改正すらるべきである。
2. いずれの締約国も、改正を提案することができる。
3. 改正案は、その採択が提案される作業部会の会合の少なくとも四十五日前に事務局が作業部会のすぐ前に構成国に送付する。
4. 改正は、アジアハイウェイに関する作業部会において出席しかつて投票する締約国の過半数による議決で採択する。採択された改正は、事務局が国際連合事務総長に通報するものとし、同事務総長がすべての締約国に送付する。

## アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四七六

留保

第十二条 留保

6 5  
5 4の規定に従つて採択された改正は、その通報の日から六箇月の期間内に改正に対する異議を国際連合事務総長に通告した締約国が三分の一に満たない場合には、受諾されたものとみなす。

5. An amendment adopted in accordance with paragraph 4 of the present article shall be deemed accepted if during a period of six (6) months from the date of the notification, less than one third of the Parties notify the Secretary-General of the United Nations of their objection to the amendment.

## Reservations

Reservations may not be made with respect to any of the provisions of this Agreement, except as provided in article 14, paragraph 5.

## この協定 からの脱 か ら の 退

## 第十二条 この協定からの脱退

い。留保は、第十四条<sup>5</sup>に規定する場合を除くほか、この協定のいかなる規定についても付すことができない。

この協定  
の失効

### 第十三条 この協定の失効

う。この協定は、いずれかの継続する十二箇月の期間を通じて締約国の数が八未満である場合には、効力を失

紛争の解

#### 第十四条 紛争の解決

1 この協定の解釈又は適用に関する締約国間の紛争で紛争当事国が交渉又は協議によつて解決することのできないものは、紛争当事国であるいずれかの締約国が要するものとし、調停人に付託する。調停の要請のため、紛争当事国間の相互の合意によつて選定される一人又は二人以上の調停人に付託する。調停の要請の後三箇月以内に調停人の選定について紛争当事国間で合意が得られない場合には、いづれの紛争当事国も、当該紛争を付託する一人の調停人を選定するよう国際連合事務総長に要請することができる。

1. Any dispute between two or more Parties which relates to the interpretation or application of this Agreement and which the Parties to the dispute are unable to settle by negotiation or consultation shall be referred to conciliation if any of the Parties to the dispute so requests and shall, to that end, be submitted to one or more conciliators selected by mutual agreement between the Parties to the dispute. If the Parties to the dispute fail to agree on the choice of a conciliator or conciliators within three (3) months after the request for conciliation, any of those Parties may request the Secretary-General

of the United Nations to appoint a single conciliator to whom the dispute shall be submitted.

2. 1の規定に従つて選定された調停人の勧告は、その性質上拘束力を有するものではないが、紛争当事国による再考の基礎となる。

3. 紛争当事国は、相互の合意により、調停人の勧告を拘束力を有するものとして承諾する旨を事前に合意することができる。

4. 1、2及び3の規定は、紛争当事国間で相互に合意された紛争の解決のための他の手段を排除するものと解してはならない。

5. いづれの国も、確定的な署名の時又は批准書、受諾書、承認書若しくは加入書の寄託の時に、調停に関するこの条の規定に拘束されない旨の留保を寄託することができる。他の締約国は、そのような留保を寄託した締約国との関係において、調停に関するこの条の規定に拘束されない。

4. Paragraphs 1, 2 and 3 of the present article shall not be construed to exclude other measures for the settlement of disputes mutually agreed between the Parties to the dispute.

5. Any State may, at the time of definitive signature or of depositing its instrument of ratification, acceptance, approval or accession, deposit a reservation stating that it does not consider itself bound by the provisions of the present article relating to conciliation. Other Parties shall not be bound by the provisions of the present article relating to conciliation with respect to any Party which has deposited such a reservation.

## い)の協定の適用の制限

### 第十五条 い)の協定の適用の制限

#### Limits to the application of this Agreement

1. この協定のいかなる規定も、締約国が、緊急事態においてのみ、対外的又は国内的な安全の保障のために必要であると認める措置であつて国際連合憲章の規定に適合するものとを妨げるものと解してはならない。

1. Nothing in this Agreement shall be construed as preventing a Party from taking such action, compatible with the provisions of the Charter of the United Nations and limited to the exigencies of the situation, as it considers necessary to its external or internal security.

2. 締約国は、この協定に適合したアジアハイウェイ道路網を整備するために、自国の予算その他の資金が利用可能であることを条件として及び自国の法令に従つて、あらゆる可能な努力を払う。その資金が予算と並んで他の資金として利用される場合、締約国は、その他の資金を充てることとする。

2. A Party shall make every possible effort, subject to the availability of budget and other forms of funding of that Party and in accordance with its laws and regulations, to develop the Asian Highway network consistent with this Agreement.

3. この協定のいかなる規定も、締約国がその領域において物品及び人の移動を認める義務を受諾するものと解してはならない。

3. Nothing in this Agreement shall be construed as acceptance of an obligation by any Party to permit the movement of goods and passenger traffic across its territory.

# アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

## 四七八

締約国に  
対する通  
報

### 第十六条 締約国に対する通報

国際連合事務総長は、締約国及び第五条に規定するその他の国に対し、第七条、第八条、第九条及び第十条に規定する通報並びに第十四条に規定する留保のほか、次の事項を通報する。

General of the United Nations shall notify the Parties and the other States referred to in article 5 of the following:

(a) 第五条の規定に基づく確定的な署名、批准、受諾、承認及び加入

)の協定が第六条の規定に従つて効力を生ずる日

)の協定の改正が第八条5、第九条6及び第十条6の規定に従つて効力を生ずる日

(c) 第十二条の規定に基づく脱退

(d) 第十三条の規定に基づく協定の終了

(e) 第十七条 協定の附属書

協定の附  
属書

協定の事  
務局

国際連合アジア太平洋経済社会委員会は、)の協定の事務局として行動する。

### 第十九条 事務総長へのこの協定の寄託

事務総長へのこの  
協定の寄

)の協定の原本は、国際連合事務総長に寄託する。同事務総長は、)の協定の第五条に規定するかぎりの

General of the United Nations, who shall send certified true copies to all the States referred to in article 5 of this Agreement.

### Article 16

#### Notifications to Parties

In addition to communications provided for in articles 7, 8, 9 and 10 and the reservation provided for in article 14 of this Agreement, the Secretary-General of the United Nations shall notify the Parties and the other States referred to in article 5 of the following:

(a) Definitive signatures, ratifications, acceptances, approvals and accessions under article 5;

(b) The dates of entry into force of this Agreement in accordance with article 6;

(c) The date of entry into force of amendments to this Agreement in accordance with article 8, paragraph 5, article 9, paragraph 6 and article 10, paragraph 6;

(d) Withdrawal under article 12;

(e) The termination of this Agreement under article 13.

### Article 17

#### Annexes to the Agreement

Annexes I, II and III to the Agreement shall form an integral part of this Agreement.

### Article 18

#### Secretariat of the Agreement

The United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific shall act as the secretariat of this Agreement.

### Article 19

#### Deposit of the present Agreement with the Secretary-General

The original of this Agreement shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations, who shall send certified true copies to all the States referred to in article 5 of this Agreement.

以上の証拠として、下名は、正当に委任を受けていの協定に署名した。

この協定は、一千四年四月二十六日に中国の上海で、ひししく正文やある中国語、英語及びロシア語による本書一通について署名のために開放された。

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorized thereto, have signed this Agreement,

OPENED for signature on the twenty-sixth day of April two thousand and four at Shanghai, China, in a single copy in the Chinese, English and Russian languages, the three texts being equally authentic.

# アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

## 附属書 I

### 附属書 I アジアハイウェイ道路網

## 四六〇

### ASIAN HIGHWAY NETWORK

#### Annex I

1 アジアハイウェイ道路網は、アジアにおける国際的に重要な道路の路線から成り、「一以上の小地域（例えば、東アジア及び東南アジア、南アジア及び南西アジア、小地域内の道路の路線（隣接する小地域につながるもの）を含む。）」並びに加盟国内にある道路の路線であつて(a)首都、(b)工業及び農業の主な中心地、(c)主要な空港、海港及び河川港、(d)主要なコンテナー・ターミナル及び倉置場並びに(e)主要な観光資源へのアクセスを提供するものを含む。

2 路線番号は、「アジアハイウェイ」を表す「AH」から始まり、「一桁」、「二桁又は三桁の番号が」繋げられる。

3 「一から九までの一桁の路線番号は、二以上の小地域を実質的に通過するアジアハイウェイの路線に割り当たられる。」

4 「一桁及び三桁の路線番号の組は、小地域内のアジアハイウェイの路線（隣接する小地域につながるもの）及び加盟国内にある道路の路線を示すため、次に示すとおり割り当たられる。」

(a) 路線番号〇から二九まで及び一〇〇から一九九までは、ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア、インドネシア、ラオス人民民主共和国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ及びベトナムを含む東南アジアの小地域に割り当たられる。

(b) 路線番号三〇から三九まで及び三〇〇から三九九までは、中国、朝鮮民主主義人民共和国、日本国、モンゴル、大韓民国、ロシア連邦<sup>(注)</sup>（極東）を含む東アジア及び北東アジアの小地域に割り当たられる。

(c) 路線番号四〇から五九まで及び四〇〇から五九九までは、バングラデシュ、ブータン、インド、ネパール、パキスタン及びスリランカを含む南アジアの小地域に割り当たられる。

(d) 路線番号六〇から八九まで及び六〇〇から八九九までは、アフガニスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、グルジア、iran、イスラム共和国、カザフスタン、キルギス、ロシア連邦<sup>(注)</sup>、タジキスタン、トルコ、トルクメニスタン及びウズベキスタンを含む北アジア、中央アジア及び南西アジアの小地域に割り当たられる。

注 ロシア連邦は、その地理的な規模により、路線番号を割り当てるために「の小地域に含まれる。

1. The Asian Highway network consists of highway routes of international importance within Asia, including highway routes substantially crossing more than one subregion such as: East and North-East Asia, South and South-West Asia, South-East Asia and North and Central Asia; highway routes within subregions including those connecting to neighbouring subregions; and highway routes located within member States which provide access to: (a) capitals; (b) main industrial and agricultural centres; (c) major air, sea and river ports; (d) major container terminals and depots; and (e) major tourist attractions.
2. Route numbers begin with "AH", which stands for "Asian Highway", followed by one or two or three digits.

3. Single-digit route numbers from 1 to 9 are assigned to Asian Highway routes, which substantially cross more than one subregion.

4. Sets of two- and three-digit route numbers are assigned to indicate the routes within subregions, including those connecting to a neighbouring subregion, and highway routes within member States as indicated below:

- (a) Route numbers 10-29 and 100-299 are allocated to the South-East Asia subregion including Brunei Darussalam, Cambodia, Indonesia, the Lao People's Democratic Republic, Malaysia, Myanmar, the Philippines, Singapore, Thailand and Viet Nam,

- (b) Route numbers 30-39 and 300-399 are allocated to the East and North-East Asia subregion including China, the Democratic People's Republic of Korea, Japan, Mongolia, the Republic of Korea and the Russian Federation<sup>1</sup> (Far East);

- (c) Route numbers 40-59 and 400-599 are allocated to the South Asia subregion including Bangladesh, Bhutan, India, Nepal, Pakistan and Sri Lanka;

- (d) Route numbers 60-89 and 600-899 are allocated to the North, Central and South-West Asia subregion including Afghanistan, Armenia, Azerbaijan, Georgia, the Islamic Republic of Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, the Russian Federation<sup>1</sup>, Tajikistan, Turkey, Turkmenistan and Uzbekistan.

<sup>1</sup> The Russian Federation is included in two subregions for the purpose of assigning route numbers because of its geographic extent.

アジアハイウェイの路線の表

二以上の小地域を実質的に通過するアジアハイウェイの路線

*Asian Highway routes substantially crossing more than one subregion*

A H 路線番号	A H 二	A H 一
上海—杭州—南昌—湘潭—貴陽—昆明—景洪（→ダルオ—モンラ—チャイントン）—磨憨—ボテン—ナ—トウイーフエサイ—チエンコーン—チエンライ	ウンダニード—キヤフター—アルタンボラク—ダルハン—ウランバートル—ナライハ—チヨイル—サインシャヤンド—ザミン—ウード—エレンホト—北京—塘沽 ビー	デンバサール—スラバヤ—スラカルタ—スマラン—チカンベック—パンドン—ジャカルタ（メラッカ）—エリ—シンガポール—スナイウタラ—スレンバン—クアラルンブール—バタワース—ブキッカユヒタム—サダオ—ハジャイ—バンコク—バンパイ—ナコンサワン—ターカー—エンライ—メ—サイ—タチレイ—チャイントン—メイツティ—ラ—マンダレー—タム—モーレ—インバル—コヒマ—ディマブル—ナガ—オ—ジョヨラバート（グワハティ）—シロン—ドウキ—タマビル—シリト—カツチブル—ダスカ—ジョソール—ベナボール—バーンガ—オ—コルカタ—バリ—カーンブル—アグラ—ニューデリー—ターリー—ワガ—ラホール—ラワルビンディ（イスラマバード）—ハッサンナブダール—ペシヤ华尔—トルハン—カブル—カンドハル—デイラーム—ヘラート—イスラムガラードガルーン—マシヤド—サザビアール—ダムガーン—セムナーン—テヘラン—ガズヴィン—タブリーズ—イヴォグリ—バーザルガーン—ギュルバラシクード—ウベヤズドト—アシュカル—レフアヒエ—バス—アンカラ—ゲレデ—イスタンブル—カブクレ—ブルガリアの国境

AH route number	Itinerary
AH1	Tokyo – Fukuoka – ferry – Pusan – Kyongju – Taegu – Taejon – Seoul – Munsan – Gaesung – Pyongyang – Sinuiju – Dandong – Shenyang – Beijing – Shijiazhuang – Zhengzhou – Xinyang – Wuhan – Changsha – Xiangtan – Guanzhou (– Shenzhen) = Nanjing – Youyiguan – Huu Ngii – Dong Dang – Ha Noi – Vinh – Dong Ha – Hue – Da Nang – Hoian – Nha Trang – Bien Hoa (= Vung Tau) – Ho Chi Minh City – Mac Bai – Baret – Phnom Penh – Pojet – Aranyaprathet – Kabin Buri – Hin Kong – Bang Pa-in (= Bangkok) – Nakhon Sawan – Tak – Mae Sot – Myawadi – Pyaygyi (= Yangon) – Mektila – Mandalay – Tamu – Moreh – Imphal – Kohima – Dimapur – Nagaon – Jorabat (= Guwahati) – Shillong – Dawkai – Tamabil – Syhet – Katchpur – Dhaka – Jessore – Benspol – Bongaon – Kolkata – Barthi – Kampur – Agra – New Delhi – Attari – Wagah – Lahore – Rawalpindi (= Islamabad) – Hasanabad – Peshawar – Torkham – Kabul – Kandahar – Dilaram – Herat – Islam Qala – Doghjanun – Masthad – Sabzevar – Damghan – Semnan – Tehran – Qazvin – Tabriz – Eyyoghi – Bazargan – Gurbulak – Dogubayazit – Askale – Refahiye – Sivas – Ankara – Gerede – Istanbul – Kapikule – Border of Bulgaria
AH2	Dempas – Surabaya – Surakarta – Semarang – Cikampak (= Bandung) – Jakarta (= Merak) – Ferry – Singapore – Semai Utara – Seremban – Kuala Lumpur – Butterworth – Bukit Kayu Hitam – Sa Dao – Hat Yai – Bangkok – Bang Pa-in – Nakon Sawan – Tak – Chiang Rai – Mae Sai – Tachilek – Kyaing Tong – Meittha – Mandalay – Tamu – Moreh – Imphal – Kohima – Dimapur – Nagaon – Jorabat (= Guwahati) – Shillong – Dawkai – Tamabil – Sylhet – Kacipur – Dhaka – Hailakml – Bangladesh – Siliguri – Kakchinghita – Pathaiya – Narayanghat – Kohalpur – Mahendranagar – Brahmapur Maudi – Barabasa – Rangpur – New Delhi – Atari – Wanghaj – Lahore – Multan – Rohri – Quetta – Taftan – Mirjaveh – Zahedan – Kerman – Anar – Yazd – Salafchegan (= Tehran) – Saveh – Hamadan – Khozravi
AH3	Ulan-Ude – Kyrkata – Altanbulag – Darkhan – Ulaanbaatar – Nalayh – Choi – Saynsand – Zamin-Uud – Erchinhot – Beijing – Tanggu – Rai.
Shanghai – Hangzhou – Nanchang – Xianstan – Guiyang – Kunming – Jinghong (= Daluo – Mongolia – Kyaing Tong) – Mohan – Boten – Natuey – Houayxay – Chiang Khong – Chiang Rai.	

## アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四八一

A H四	ノボシビルスク—ブルナウル—タシヤンタ—オラーンバイシン—ホブド—ヤーランタイ ウルムチ—カシュガル—ホンチラーフー—ジョラーブ—ハツサナブダール—ラワルビン—ディ (—イスラ マバード) —ラホール—ムルタン—ロリー—ハイデラバード—カラチ
A H五	上海—南京—信陽—西安—蘭州—トルファン—ウルムチ—奎屯—精河—ホルグス—アルマトイ—カズケレ —ゴルダイ—ゲオルギエフカ—ビンユケク—カラバルタ—ヤルドヴィアル—メルケ—チムケン—ジベ クジョル—チエルニヤエフカ—タシケント—シルダリア—スマルカンド—ナヴォイ—ブハラ—アフムーフ アラシップ—トルクメナベット—マリ—テジエン—アシガバット—セルダル—トルクメンバシート ハリ —バクー—アラト—ガジマヌ—ギヤンジャヤ—カザフ—レンドブリジ—ムンジン—ムンジン—ターベシヨ リ—ゼナキ—ボチ (ブルガリア、ルーマニア又はウクライナへのフェリー)—サルビ—サルブ—トラブゾン—サムスン—メルジフォン ア、ルーマニア又はウクライナへのフェリー)—サルビ—サルブ—トラブゾン—サムスン—メルジフォン —ゲレディ—イスタンブル—カブクレーブルガリアの国境
A H六	釜山—慶州—江陵—杆城—高城—元山 (—平壤)—清津—先鋒—ハサン—ハサン—ラズドリノエ (—ウ ラジオストク—ナホトカ) —ウスリースク—ボグラニチヌイ—綏芬河—ハルビン—チハル—満州里—ザ バイカリスク—チタ—ウランウデ—イルクーツク—クラスノヤルスク—ボンシリルスク—オムスク—イン ルクル—カラクガ—ベトロバロフスク—チストエ—ベトウホヴォ—エリヤビンスク—ウファ—サマ ラ—モスクワ—クラスノエ—ペラルシの国境
A H七	エカテリンブルク—エリヤビンスク—トロイスク—カエラク—コスタナイ—アスタナ—カラガンダ—ブ ルバイル—メルケ—チャルビアル—カラバルタ—オシュ—アンディジャヤン—タシケント—シルダリア —ハヴァースト—ホヤンンド—ウシヤンベ—ジノバンジ—シェエリハーン—ブリフミリー—ジャバルサ ラージ—カブル—カンドハル—スピンボルダック—チャマン—エッタ—カラット—カラチ
A H八	フィンランドの国境—トルブノフカ—ヴィボルグ—サンクトペテルブルク—セスクワータンボフ—ボリゾ グレンスク—ボルゴグラード—アストラ—ハノーハサヴエルト—マハカラ—カズマリヤルスキ—サムル —スマガイト—バクー—アラト—ムラスヴァル—アスター—ラシムユト—ガズヴィン—テヘラン—サーザ アフワーズ—パンダルイーム

小地域内のアジアハイウェイの路線（隣接する小地域につながるものを持む。）及び加盟国内に  
あるアジアハイウェイの路線

Asian Highway routes within subregions, including those connecting to neighbouring subregions, and Asian Highway routes located within member States	
東南アジア	
A H一一	ビエンチャン—バンラオ—タケクセ—バンカム—ムートロペアンクリアル—ストゥンムウラハ —クロチエ—ノンペー—シアヌークビル
A H一一	ナートウイ—ウドムサイ—ペクモン—アルアンベベ—ハーピエン—ヤン—タナレーン—ノンカイ—ウドンタ ーヒ—コンケン—ナコンラチャシマー—コソノン
A H一三	ウドムサイ—ムアンダーン—ハノイ—ウタラダ—イット—ビサヌローク—ナコンサワン
A H一四	ハイフォン—ハノイ—ヴィエットチ—ラオカイ—河口—昆明—瑞麗—ムセ—ラーンショウ—マンダ レー
South-East Asia	
AH11	Vientiane—Ban Lao—Thakhek—Seno—Pakse—Veunkham—Tranpheangchual—Sung Treng Kratie—Phnom Penh—Sihanoukville
AH12	Nateuy—Oudomxai—Pakmonong—Louang Phrabang—Vientiane—Thanaleng—Nong Khai— Udon Thani—Khon Kaen—Nakhon Ratchasima—Hin Kong
AH13	Oudomxai—Muang Ngueun—Huai Kha—Uttaradit—Phisanulok—Nakhon Sawan
AH14	Hai Phong—Ha Noi—Viet Tri—Lao Cai—Hekou—Kunning—Ruili—Muse—Lashio— Mandalay

アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

AH15	Vinh – Cau Treo – Keonau – Ban Lao – Thakhek – Nakhon Phanom – Udon Thani	
AH16	Dong Ha – Lao Bao – Demsavanh – Seno – Savannakhet – Mukdahan – Khon Kaen – Phitsanulok – Tak	
AH17	Hat Yai – Sungai Kelok – Ranau, Rajang – Kota Bahru – Kuantan – Johor Bahru – Johor	
AH18	Bahrul Causeway	
AH19	Nakhon Ratchasima – Kabin Buri – Laem Chabang – Chonburi – Bangkok	
AH20	Banda Aceh – Medan – Tebingtinggi – Dumai – Pekanbaru – Jambi – Palembang – Tanjung Karang – Bakauheni – ferry – Merak	
AH21	Laogag – Manila – Legazpi – Matnog – ferry – Alfon – Tacloban (– Ormoc – ferry – Cebu) – Liisan – ferry – Surigao – Davao (– Cagayan de Oro) – General Santos – Zamboanga	
東アジア及び北東アジア		
AH22	ウスリースクー–ハロフスクー–ゼロゴルスクー–チタ	
AH23	ベロゴルスクー–グラゴビシチエンスクー–黒河 – ハルビン – 長春 – 潘陽 – 大連	
AH24	先鋒 – 元汀 – 圏河 – 墓春 – 良春 – アルシャン – スムルク – スンベル – チョイバルサン – ウンドゥルバーン – ナライバー – ウランバートル – オリヤスター – ホブド	
AH25	ヘルゴン – 同江	
AH26	AH27	連雲港 – 鄭州 – 西安
南アジア		
AH28	Ussurijsk – Khabarovsk – Belogorsk – Chita	
AH29	Belogorsk – Blagoveshchensk – Hebi – Harbin – Changchun – Shenyang – Dalian	
AH30	Songbong – Wonjon – Quanhu – Hunchun – Changchun – Arshan – Numtryg – Sumber – Choybalsan – Ondorhaan – Nalayh – Ulaanbaatar – Uljastay – Hovd	
AH31	Harbin – Tongliao	
AH32	AH33	Liaoning – Manlia – Jinzhou – Xian
East and North-East Asia		
AH34	Lianyungang – Zhengzhou – Xian	

South Asia	
AH41	Border of Myanmar – Teknaf – Cox's Bazar – Chittagong – Kachipur – Dhaka – Hatikamul – Jessore – Mongolia
AH42	Lanzhou – Xining – Golmud – Lhasa – Zhangmu – Kodari – Kathmandu – Narayanghat – Pathaiya – Birgunji – Razau – Piprakothi – Muzaffarpur – Barauni – Barhi
AH43	Agra – Gwalior – Nagpur – Hyderabad – Bangalore – Krishnagiri – Madurai – Dhanushkodi – ferry – Tallaimannar – Anuradhapura – Dambulla – Kurunegala (– Kandy) – Colombo – Galle – Matale
AH44	Dambulla – Trincomalee
AH45	Kolkata – Khartagpur – Balasore – Bhubaneswar – Visakhapatnam – Vijayawada – Chennai – Krishnagiri – Bangalore
AH46	Khartagpur – Nagpur – Dhule
AH47	Gwalior – Dhule – Thane (– Mumbai) – Bangalore
AH48	Phuentsholing – Border of India
AH51	Peshawar – Dera Ismail Khan – Quetta

アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四八四

AH6○	北アジア、中央アジア及び南西アジア オムスク—チエルラク—ニルティンスコエ—パブロダール—セミパラチンスク—ゲオルギエブカータス ケスケン—ウチャラル—アルマティ—カスケレン—ブルバイタル
AH6一	カシュガル—トルガルガルト—トルガルガルト—ナリン—ビシュケ—ゲオルギエブカ—コルダイ—メルケ—チム ケント—クジルオルダ—アラリスク—カラタク—アクチュビンスク—ウラリスク—カメンカ—オジンキ —カラトフ—ボリソフ—ブスク—ボロネジ—クルスク—ウクライナの国境
AH6二	ペトロバロフスク—アルカルイク—エズカズガン—クジルオルダ—チムケント—ジベクジョル—チエ ルニヤエフカ—タシケント—シルダリア—サマルカンド—グザル—テルメズ—ハイラターン—マザリシヤ リフ
AH6三	サマーラ—クルリン—ボコダエヴォ—ウラリスク—アティラウ—ベイネウ—オアジス—ヌクス—ア ハラ—グザル
AH6四	バルナル—ヴェゼロヤルスキ—クラスニ—アウル—セミバラチンスク—パブロダール—シディルティ —アスター—コクシタウ—ベトロバロフスク
AH6五	カシュガル—アクシタン—イルケシュタム—サリタシュ (—オシュ) —カラムイク—バフダット— ドウシヤンベートウルスンゾダ—ウズン—テルメズ
AH6六	中国の国境—クルマ岬—ホルグ—クロブ—バフダット—ニウシヤンベ
AH6七	奎屯—バクトゥ—バフク—タスケスケン—セミバラチンスク—ペブロダール—シディルティ—カラ ガンダ—ジエズカズガン
AH6八	精河—アラシャンノウ—ドスティック—ウチャラル
AH7○	ウクライナの国境—ドネツク—ボルゴグラード—アストラハン—コチヤエフカ—アティラウ—ベイ ネウージエティバイ (—アクトウ) —ベクダンシュートウルクメンバン—セルダル—グドウロルム— インチエボルーン—ゴルガーン—サーリー—セムナーン—ダムガーン—ヤズド—アナール—バン ダルアブバース
AH7一	ディカラーム—ザランジ—ミーラク—サボール—タショタク
AH7二	テヘラン—コム—イスファハン—シーラーナー—ブシエール
AH7五	テジエン—サラフス—サラフス—マシャニ—ヨールジヤン—ネフバンダン—ダシュタク—ザヒダ ン—チヤーバヘル
AH7六	ブリフムリ—マザリシヤリフ—ウラム
AH7七	ジャバルサラージ—ベーミヤン—ベーネー—ムールダンディ—ゼルヘタバツト—マリ
AH七八	アシガバント—チヨフダム—ベジュギー—ウーナー—グーチヤーン—サブゼヴァール—ケルマン
AH八一	ラルシームツ—ターレドリシ—サダフロ—バクラタン—ウアナジヨ—シユタラク—ヒンバ ン—ヒラスフ—サダラク—ナヒチエバノ—ヒルフア (—ジヨルフア) —オルジウバド—アガラク メルリ
AH八二	アウバンド—ヨーラジス—ガジマメド—アラム—バク—エリ—アクタウ
AH八三	ロシア連邦の国境—レゼリヨ—スフミ—ゼナキ—ヒンヨリ—ヘルフィー (—ガバーニ) —ミタ ーフ—バザラ—ダムリ (—アクリク) —アシュタク—エレバン—ヒラスフ—ヒリス—カバン—メル リ—アガラク—ヌールドウ—エリ—ヨルファ—エヴァアレング
AH八三	カザフ—ウズンガラ—ラヴァカル—エレバン

AH60	North Central and South-West Asia Omsk – Chetfak – Pnityshkoe – Pavlodar – Semipalatinsk – Georgievka – Taskesken – Ucharal – Almaty – Kasteten – Burubatal
AH61	Kastai – Turugert – Torougart – Naryn – Bishkek – Georgievka – Kordai – Merke – Shymkent — Kyzjorda – Aralsk – Karabutak – Atkubinsk – Ural'sk – Kamenka – Ozilki – Satatov – Borysoglebsk – Voronezh – Kursk – Krupets – Border of Ukraine
AH62	Petrovavlovsk – Arkalyk – Zherzagan – Kyzjorda – Shymkent – Zhibek Zholi – Chernavka – Tashken – Syrdaria – Samarkand – Guzar – Tempez – Haiazan – Mazar-i- Shairif
AH63	Samara – Kurlin – Pogodaev – Ural'sk – Atyrau – Beyneu – Oazis – Nukus – Bukhara – Guzar
AH64	Barnaul – Vostochny – Krasny Aul – Semipalatinsk – Pavlodar – Shiderty – Astana – Kokshetau – Petropavlovsk
AH65	Kashi – Arkextan – Ifkeshian – Sary-Tash (— Osh) – Karamyk – Vakhit – Dushanbe – Tursunzade – Ilyzon – Termez
AH66	Border of China – Kulma Pass – Khorugh – Kulob – Vakhit – Dushanbe
AH67	Kuitun – Bakeru – Bakhy – Taskesken – Semipalatinsk – Pavlodar – Shiderty – Karaganda – Zhezkazgan
AH68	Jinghe – Alatawshankou – Dostryk – Ucharal
AH70	Border of Ukraine – Donetsk – Volgograd – Astrakhan – Konyavka – Atyrau – Beyneu – Zhetybai (— Aksay) – Bekdash – Turkmenbasti – Seirdar – Gujurulum – Incite Boroun – Gorgan – Sari – Semnan – Daughan – Yazd – Anar – Bandar Abbas
AH71	Dilaran – Zarang – Milak – Zubul – Dashtak
AH72	Tehran – Qom – Esfahan – Shiraz – Bushehr
AH75	Tejen – Sarans – Sarakhs – Mashhad – Birjand – Nefbandan – Dashtak – Zahedan – Chahbar
AH76	Polektumri – Mazari-Shairif – Herat
AH77	Djibulsarci – Bamyan – Herat – Torghondi – Serkhetabat – Mary
AH78	Ashgabat – Choudan Pass – Bajigjan – Quchan – Sabzevar – Kerman
AH81	Larsi – Miskhata – Tbilisi – Sodkhalo – Bagratashen – Vanadzor – Agharak – Yerevan – Eraskh – Sadarak – Nakchivan – Jufa (— Jofa) – Ordubad – Agarak – Megri Aghband – Gurdiz – Gazi Mammed – Alat – Baku – ferry – Aktau
AH82	Border of the Russian Federation – Leseidzze – Suhkumi – Senaki – Khashuri – Akhatsikhe (- Vale) – Zdanov – Bavra – Gumri (- Akurik) – Ashtarak – Yerevan – Eraskh – Goris – Kapan – Megri – Agarak – Nour Douz – Jolfa – Iyeoqlu
AH83	Kazakh – Uzungala – Paravakar – Yerevan

AH八四	ヌーウベヤズツムーディヤルバクル—ガージーアンテブートプラクカレ（—イスケンデル）—ア ダナ—イチュル
AH八五	レファヒエ—アマスヤ—メルジフォン
AH八六	アシュカル—バイブルト—トラブゾン
AH八七	アンカラ—アフィヨン—ウシャツク—イズミル

注釈 括弧内の路線は、括弧の直前に示される場所からの支線を明示する。

傍線を施した区間は、アジアハイウェイの路線となり得るものと示す。

「フェリー」 という語は、締約国にいかなる義務をも課するものと解してはならない。

AH84	Dogubayazit – Diyarbakir – Gaziantep – Toprakkale (- Iskenderun) – Adana – Icel
AH85	Refahije – Anasya – Merzifon
AH86	Askale – Bayburt – Trabzon
AH87	Ankara – Afyon – Usak – Izmir

Notes: Routes in parentheses identify branches from the place indicated immediately before the parentheses.

Underlined sections indicate potential Asian Highway routes.

The word "Ferry" shall not be construed so as to impose any obligation on the Parties.

# アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四六六

附属書II アジアハイウェイの分類及び設計基準

Annex II

## ASIAN HIGHWAY CLASSIFICATION AND DESIGN STANDARDS

### I. 総則

アジアハイウェイの分類及び設計基準は、アジアハイウェイの路線の建設、改善及び維持のための最低限度の基準及び指針を提示する。締約国は、新たな路線の建設並びに既存の路線の改良及び近代化の双方に当たり、これらの規定を遵守するためにあらゆる可能な努力を払う。これらの基準は、市街化した区域圏においては適用しない。

注 締約国は、当該締約国の要件に従つて、市街化した区域を示すべきである。

### II アジアハイウェイの路線の分類

アジアハイウェイは、第一表に示すとおり分類される。

第一表 アジアハイウェイの分類

分類	特徴	舗装の種類
主要	出入制限された道路	アスファルト・コンクリート又はセメント・コンクリート
第一級	四以上の車線	アスファルト・コンクリート又はセメント・コンクリート
第二級	二の車線	アスファルト・コンクリート又はセメント・コンクリート
第三級	二の車線	一層式歴青処理

分類における「主要」の等級は、出入制限された道路をいう。出入制限された道路は、専ら自動車が使用する。出入制限された道路への出入りは、立体交差するインターチェンジに限られる。モペッド、自転車及び歩行者は、交通の安全及び自動車の高い走行速度を確保するために、出入制限された道路に進入することを認められるべきでない。平面の交差点では、出入制限された道路においては設計されるべきでなく、また、車道は、中央帯によつて分割されるべきである。

“Primary” class in the classification refers to access-controlled highways. Access-controlled highways are used exclusively by automobiles. Access to the access-controlled highways is at grade-separated interchanges only. Mopeds, bicycles and pedestrians should not be allowed to enter the access-controlled highway in order to ensure traffic safety and the high running speed of automobiles. At-grade intersections should not be designed on the access-controlled highways and the carriageway should be divided by a median strip.

「第三級」は、道路の建設のため又は道路の用地のための資金が限られている場合についてのみ用いられるべきである。舗装の種類は、将来できる限り速やかにアスファルト・コンクリート又はセメント・コンクリートに改良されるべきである。第三級も、最低限度の望ましい基準であるとみなされるので、第三級の基準を満たすために道路の第三級に満たない、それの区間を改良する」とも奨励されるべきである。

The Asian Highway classification and design standards provide the minimum standards and guidelines for the construction, improvement and maintenance of Asian Highway routes. Parties shall make every possible effort to conform to these provisions both in constructing new routes and in upgrading and modernizing existing ones. These standards do not apply to built-up areas.<sup>1</sup>

### II. CLASSIFICATION OF ASIAN HIGHWAY ROUTES

Asian Highways are classified as shown in table 1.

Table 1. Asian Highway classification

Classification	Description	Pavement type
Primary	Access-controlled highways	Asphalt or cement concrete
Class I	4 or more lanes	Asphalt or cement concrete
Class II	2 lanes	Asphalt or cement concrete
Class III	2 lanes	Double bituminous treatment

“Class III” should be used only when the funding for the construction and/or land for the road is limited. The type of pavement should be upgraded to asphalt concrete or cement concrete as soon as possible in the future. Since Class III is also regarded as the minimum desirable standard, the upgrading of

<sup>1</sup> The Party should indicate built-up areas in accordance with its requirements.

any road sections below Class III to comply with the Class III standard should be encouraged.

### III アジアハイウェイの路線の設計基準

#### HIGHWAY ROUTES

##### 1. 地形の分類

地形の分類は、第一表に示すとおりである。

第一表 地形の分類

地 形 の 分 類	傾 斜
平たんな地形 (L)	○°～セハーネから 1 ○°～セハーネ未満
なだらかに起伏している地形 (R)	1 ○°～セハーネを超えて 1 1五°～セハーネ未満
山岳の地形 (M)	1 1五°～セハーネを超えて 1 ○°～セハーネ未満
傾斜の急な地形 (S)	六〇°～セハーネを超えて

##### 2 設計速度

設計速度は、一時間につき一百二十、百、八十、六十、五十、四十及び三十キロメートルを用いる。設計速度、道路の分類及び地面の分類の間の関係は、第三表に示すとおりである。一時間につき百二十キロメートルの設計速度は、中央帯及び立体交差するインターチェンジを有する主要の等級（出入制限された道路）についてのみ用いられるべきである。

第二表 設計速度、道路の分類及び地形の分類

（単位 一時間につきキロメートル）

地 形	主 要	第一 級	第 二 級	第 三 級
平たんな地形 (L)	110	100	80	60
なだらかに起伏している地形 (R)	100	80	60	50
山岳の地形 (M)	80	50	40	30
傾斜の急な地形 (S)	60	50	40	30

Table 2. Terrain classification

Terrain classification	Cross slope
Level (L)	0 to 10 per cent
Rolling (R)	More than 10 to 25 per cent
Mountainous (M)	More than 25 to 60 per cent
Steep (S)	More than 60 per cent

##### 2. Design speed

Design speeds of 120, 100, 80, 60, 50, 40 and 30 kilometres per hour are to be used. The relation between design speed, highway classification and terrain classification is shown in table 3. A design speed of 20 km/h should be used only for Primary class (access-controlled highways), which has median strips and grade-separated interchanges.

Table 3. Design speed, highway classification and terrain classification

（Unit: km/h）

Terrain	Primary	Class I	Class II	Class III
Level (L)	120	100	80	60
Rolling (R)	100	80	60	50
Mountainous (M)	80	50	50	40
Steep (S)	60	50	40	30

## アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四八八

### 3 横断面

道路のそれぞれの分類について、道路用地の幅、車線の幅、路肩の幅、中央帯の幅、車道の傾斜、路肩の傾斜等の寸法は、第四表に示すとおりである。

動物が牽引する車、歩行者及び自転車は、そのような地域の交通の存在によって円滑な交通が妨げられる区間に<sup>リ</sup>ついては、実際的である場合には、側道又は歩道を設けることによつて通過交通から分離されるべきである。

### 3. Cross-section

The dimensions, such as right-of-way width, lane width, shoulder width, median strip width, pavement slope and shoulder slope for each highway classification, are shown in table 4.

Pedestrians, bicycles and animal-drawn carts should be separated from through traffic by the provision, where practical, of frontage roads and/or sidewalks for the sections where smooth traffic is impeded by the existence of such local traffic.

第四表 アジアハイウエイの設計基準

注釈

括弧内の数値は、望ましい値である。

最小平面曲線半径は、片勾配との関係において決定されるべきである。

締約国は、アジアハイウェイにおいて、橋、暗渠、トンネル等の構造物を建設する場合には、自国の基準を適用すべきである。

アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

Table 4 Asian Highway design standards

Highway classification		Primary (4 or more lanes)				Class I (4 or more lanes)				Class II (2 lanes)				Class III (2 lanes)			
Terrain classification		L	R	M	S	L	R	M	S	L	R	M	S	L	R	M	S
Design speed (km/h)		120	100	80	60	100	80	50		80	60	50	40	60	50	40	30
Width (m)	Right of way	(50)				(40)				(40)				(30)			
Lane	3.50				3.50				3.50				3.00 (3.25)				
Shoulder	3.00		2.50		3.00		2.50		2.50		2.00		1.5 (2.0)		0.75 (1.5)		
Median strip	4.00		3.00		3.00		2.50		N/A		N/A		N/A		N/A		
Min. radii of horizontal curve (m)	520	350	210	115	350	210	80		210	115	80	50	115	80	50	30	
Pavement slope (%)	2				2				2				2 - 5				
Shoulder slope (%)	3 - 6				3 - 6				3 - 6				3 - 6				
Type of pavement	Asphalt/cement concrete				Asphalt/cement concrete				Asphalt/cement concrete				Dbl. bituminous treatment				
Max. superelevation (%)	10				10				10				10				
Max. vertical grade (%)	4	5	6	7	4	5	6	7	4	5	6	7	4	5	6	7	
Structure loading (minimum)	HS20-44				HS20-44				HS20-44				HS20-44				

*Notes:* Figures in parentheses are desirable values.

Minimum radii of horizontal curve should be determined in conjunction with superelevation.

The recommended width of the median can be reduced with the proper type of guard fence.

The Parties should apply their national standards when constructing structures such as bridges, culverts and tunnels along the Asian Highway.

## アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四〇六

### 4 平面線形

道路の平面線形は、当該道路が通過する地形の形態に適合すべきである。最小曲線半径は、必要な場合にのみ適用されるべきであり、緩和曲線と併せて用いられるべきである。複合曲線は、可能な場合にはいつでも、避けるべきである。最小平面曲線半径は、道路のそれぞれの分類について第五表に示すとおりである。

第五表 最小平面曲線半径

地形	主 要	(単位 メートル)		
		第一 級	第二 級	第三 級
平たんな地形 (L)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)
なだらかに起伏している地形 (R)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)
山岳の地形 (M)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)
傾斜の急な地形 (S)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)	(H) (100)

注釈 括弧内の数値は、望ましい値である。

最小曲線半径の適用をやむを得ない場合に限り、( ) 及び五十ペーセント以上大きい値を適用することが勧奨される。

山岳の地形及び傾斜の急な地形におけるくアビンカーブに( ) てば、距離、半径及び勾配の組合せを考慮することが勧奨される。

緩和曲線は、第六表に示す値より小さい半径の曲線を接続するために用いられるべきである。半径が第六表における値の二倍である場合においても、緩和曲線を用いることが勧奨される。

It is recommended that the application of the minimum curve radii be limited to unavoidable cases and values larger by 50 to 100 per cent be applied.

It is recommended that the combination of distance, radius and gradient of hairpin bends in the mountainous and steep terrain be considered.

Transition curves should be applied to connect curves with radii smaller than the values shown in table 6. It is also recommended that transition curves be applied even in cases where the radii are as large as twice the values in table 6.

Table 6. Radii for which transition curves should be applied

地 形	主 要	(単位 メートル)		
		第一 級	第二 級	第三 級
平たんな地形 (L)	1' - 100	1' - 500	900	500
なだらかに起伏している地形 (R)	1' - 500	900	500	350
山岳の地形 (M)	900	500	350	250
傾斜の急な地形 (S)	500	500	250	130

The horizontal alignment of the road should be consistent with the topography of the terrain through which it passes. Minimum curve radii should be applied only when necessary and should be used in conjunction with transition curves. Compound curves should be avoided whenever possible. The minimum radii of horizontal curves are shown in table 5 for each highway class.

Table 5. Minimum radii of horizontal curve

Terrain	Primary	Class I	Class II	(Unit: m) Class III
Level (L)	520 (1000)	350 (600)	210	115
Rolling (R)	350 (600)	210 (350)	115	80
Mountainous (M)	210 (350)	80 (110)	80	50
Steep (S)	115 (160)	80 (110)	50	30

Note: Figures in parentheses are desirable values.

It is recommended that the application of the minimum curve radii be limited to unavoidable cases and values larger by 50 to 100 per cent be applied.

It is recommended that the combination of distance, radius and gradient of hairpin bends in the mountainous and steep terrain be considered.

Transition curves should be applied to connect curves with radii smaller than the values shown in table 6. It is also recommended that transition curves be applied even in cases where the radii are as large as twice the values in table 6.

Table 6. Radii for which transition curves should be applied

第七表に示す最小緩和曲線長が勧奨される。

The minimum transition curve length shown in table 7 is recommended.

第七表 最小緩和曲線長

地形	主 要	第一 級	第二 級	第三 級	(単位 メートル)
平たんな地形 (L)	100	八五	七〇	五〇	
なだらかに起伏している地形 (R)	八五	七〇	五〇	四〇	
山岳の地形 (M)	七〇	五〇	四〇	三五	
傾斜の急な地形 (S)	五〇	五〇	三五	一五	

最大片勾配は、地形のすべての分類について十パーセント以下である。

### 5. 縦断線形

いざれの道路の縦断線形も、経済的に実行可能な限り滑らかであるべきである。土地の起伏を除去するために、切取りと盛立てとの間の均衡があるべきである。最大縦断勾配を用いるに当たっては、道路は、一度特定の縦断勾配で建設された場合には、最初の投資の全体の損失なしにより小さく勾配に改良することはできない」とを設計者が明確に留意すべきである。

第八表に示す最大縦断勾配は、すべての道路の分類について用いられるべきである。

第八表 最大縦断勾配

地 形 の 分 類	最 大 縦 断 勾 配
平たんな地形 (L)	四ペーセント
なだらかに起伏している地形 (R)	五ペーセント
山岳の地形 (M)	六ペーセント
傾斜の急な地形 (S)	七ペーセント

勾配の長さが第九表における値を超える場合には、大型トラックの交通のある上り勾配の道路に登坂車線を設けることが望ましい。

Table 7. Minimum transition curve length

Terrain	Primary	Class I	Class II	Class III	(Unit: m)
Level (L)	100	85	70	50	
Rolling (R)	85	70	50	40	
Mountainous (M)	70	50	40	35	
Steep (S)	50	50	35	25	

The maximum superelevation should be 10 per cent for all terrain classifications.

### 5. Vertical alignment

The vertical alignment of any highway should be as smooth as economically feasible, that is, there should be a balance of cutting and filling to eliminate the rolling nature of land. In the use of the maximum vertical gradient, it should be kept clear in the mind of the designer that, once constructed to a given vertical grade, the highway cannot be upgraded to a lesser gradient without the loss of the entire initial investment.

The maximum vertical grade shown in table 8 should be used for all highway classes.

Table 8. Maximum vertical grade

Terrain classification	Maximum vertical grade
Level (L)	4 per cent
Rolling (R)	5 per cent
Mountainous (M)	6 per cent
Steep (S)	7 per cent

It is desirable to provide a climbing lane to up-gradient highways with heavy truck traffic where the length of the gradient exceeds the values in table 9.

## アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

四六一

登坂車線を設けるいふを決定する勾配区間の長さは、道路的主要及び第一級の分類に応じて、第九表に示すとおり勧奨され。

第九表 登坂車線を設けるいふを決定する勾配区間の長さ

地形の分類	主 要	第一 級
平たんな地形 (L)	三パーセントの場合 八〇〇メートル	三パーセントの場合 九〇〇メートル
	四パーセントの場合 五〇〇メートル	四パーセントの場合 七〇〇メートル
なだらかに起伏してゐる地形 (R)	四パーセントの場合 七〇〇メートル	四パーセントの場合 八〇〇メートル
	五パーセントの場合 五〇〇メートル	五パーセントの場合 六〇〇メートル
山岳の地形 (M)	五パーセントの場合 六〇〇メートル	五パーセントの場合 七〇〇メートル
	六パーセントの場合 五〇〇メートル	六パーセントの場合 五〇〇メートル
傾斜の急な地形 (S)	六パーセントの場合 五〇〇メートル	六パーセントの場合 五〇〇メートル
	七パーセントの場合 四〇〇メートル	七パーセントの場合 四〇〇メートル

### 6 輔装

車道は、セメント・コンクリート又はアスファルト・コンクリートで舗装すべきである。ただし、第三級については、二層式歴青処理で舗装する)ことがやむ。

アジアハイウェイの構成国における道路の多くの区間の舗装は、荷重に対する能力が不十分であるため、損傷している。したがつて、舗装のための設計荷重は、道路の表面の損傷を防止し、よつて、維持費を減ずるために、慎重に決定されるべきである。

わつとも、道路の舗装は、次の事項を考慮して設計されるべきである。

- (a) 軸重
- (b) 交通量
- (c) 路盤及び路床のために使用する材料の質(舗装のための荷重の仕様は、道路の建設材料の質が国別)と異なるので、アジアハイウェイの基準に含めなかつた。)

The critical length of gradient section for the provision of a climbing lane is recommended for highway classifications Primary and Class I, as shown in table 9.

Table 9. Critical length of gradient section for the provision of a climbing lane

Terrain classification	Primary	Class I
Level (L)	3 per cent – 800 m	3 per cent – 900 m
	4 per cent – 500 m	4 per cent – 700 m
Rolling (R)	4 per cent – 700 m	4 per cent – 800 m
	5 per cent – 500 m	5 per cent – 600 m
Mountainous (M)	5 per cent – 600 m	5 per cent – 700 m
	6 per cent – 500 m	6 per cent – 500 m
Steep (S)	6 per cent – 500 m	6 per cent – 500 m
	7 per cent – 400 m	7 per cent – 400 m

### 6. Pavement

Carriageways should be paved with cement concrete or asphalt concrete. However, Class III may be paved with double bituminous treatment.

The pavement of many road sections in the Asian Highway member countries is damaged owing to insufficient load capacity. The design load for pavements should therefore be determined carefully to prevent damage to the road surface and consequently to reduce maintenance costs.

However, road pavements should be designed taking into account:

- (a) Axle load;
- (b) Traffic volume;
- (c) Quality of materials to be used for basecourse and subgrade (as the quality of road construction materials varies from country to country, the pavement load specification was not included in the Asian Highway standards).

## 7 構造物に係る荷重

一層重量化する交通（特にコンテナーによる交通）は、適切に設計された荷重に対する能力（最大軸重）を必要とする。アジアハイウェイ道路網は、国際的な道路網として、道路の構造物への重大な損傷を防止し、また、維持費を減ずるために、高い設計荷重量を有すべきである。

したがつて、大型のトレーラーの荷重に対応する国際的な基準であるHS 20-44の最小設計荷重は、構造物の設計について用いられるべきである。

## 8 上方の建築限界

最小の上方の建築限界は、標準的であるISOコンテナーの安全な通行のための要件である四・五メートルであるべきである。ただし、橋等の既存の構造物を改築する費用が高額であるために建築限界を十分に確保できない場合には、車台の高さが低いグースネック・トレーラーを用いることができる。

## 9 環境

Minimum vertical clearance should be 4.5 metres, which is the requirement for safe passage of standard ISO containers. However, in cases where sufficient clearance cannot be secured because of the high cost of rebuilding existing structures such as bridges, gooseneck trailers with low vehicle bed clearance may be used.

## 8. Vertical clearance

An environmental impact assessment, following national standards, should be carried out when new road projects are prepared. It is also desirable to extend this provision to include reconstruction or major improvements of existing roads.

## 9. Environment

新たな道路の計画が準備された場合には、自国の基準に従つて環境影響評価が行われるべきである。また、既存の道路の再建設又は大規模な改善を含めるよう)の規定を適用する)ことが望ましい。

## 10 道路の安全

締約国は、アジアハイウェイ道路網の整備に当たり、道路の安全の問題に十分な考慮を払う。

While developing the Asian Highway network, Parties shall give full consideration to issues of road safety.

## 7. Structure loading

Increasingly heavy traffic, particularly container traffic, requires properly designed load capacity (maximum axle load). In order to prevent serious damage to road structures, and also to reduce maintenance costs, the Asian Highway network, as an international road network, should have a high design load capacity.

The minimum design loading of HS 20-44, which is the international standard corresponding to full-size trailer loading, should therefore be used for the design of structures.

## アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定

### 四六四

#### 附屬書III アジアハイウェイ道路網の識別及び標識

##### Annex III

###### IDENTIFICATION AND SIGNAGE OF THE ASIAN HIGHWAY NETWORK

1. アジアハイウェイの路線を識別し及び表示するための標識は、長方形である。
2. この標識は、AHという文字に、通常、路線に割り当てられたアラビア数字による番号が続くものからなる。この標識は、AHという文字に、通常、路線に割り当てられたアラビア数字による番号が続くものからなる。
3. 標識は、白又は黒で記載し、他の標識に取り付け又は他の標識と組み合わせる、あるいはどちらかである。
4. 標識の大きさは、高速で通行する車両の運転者が容易に確認しが理解することができるようなければならない。
5. アジアハイウェイの路線を識別し及び表示するためには、国内の基準に基いて道路を識別するための標識の使用を妨げるものではない。
6. アジアハイウェイの路線番号は、原則として、関係する加盟国の方針を指示する標識のシステムに統合され又は当該システムと組み合わせられる。番号は、出入りのための道路又はインターチェンジの前後に挿入することができる。
7. いずれかの国がアジアハイウェイ道路網に関する政府間協定及び主要国際交通幹線道路に関する欧州協定の双方の締約国である場合には、路線は、締約国の裁量により、アジアハイウェイの路線標識若しくは欧洲道路の標識のいずれか又は双方により表示される。
8. アジアハイウェイの路線が他の路線に切り換わる場合又はアジアハイウェイの他の路線と交差する場合には、関係するアジアハイウェイの路線番号が出入り口又はインターチェンジの前に表示されることが勧奨される。

(参考)

この協定は、国際的に重要な道路の路線の整備のための調整された計画としてアジアハイウェイ道路網を採択すること、同道路網をこの協定に規定する設計基準等に適合させるべきこと等について定めるものである。